

7月の野菜の見通し

令和元年6月29日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	7,148	少ない	8,599	121	91%	100	-	-	北海道産、早場の春大根が減少して、相場は一時的に上昇する見込み。その後は北海道産の夏物が増えて弱含みの展開が予想される。7月の全体量は、少なかった前年並みを見込む。
キャベツ	15,476	平年並み	16,007	102	74%	79	-	-	群馬産は干ばつの影響があったが、回復傾向。群馬・岩手産ともに生育は順調で、7月は出荷が本格化。平年どおりの出回りが見込まれる。
ねぎ	3,571	平年並み	3,744	340	106%	363	12	0.3%	関東産は各地生育順調。中旬から東北産がスタートして出回り量は充分の見込み。下旬は給食需要がなくなり、引き合い弱まる予想。全体量は平年並みを見込む。
きゅうり	7,448	平年並み	7,317	355	76%	281	462	6.4%	福島産の露地物が最盛期を迎えるため、中旬からは相場を下げての販売となる見込み。全体量は平年並みを見込む。
トマト	8,158	平年並み	8,473	333	90%	305	351	4.0%	関東産地の出荷が落ち着くことで、7月上旬までは堅調な相場展開で推移すると見込む。北海道・東北産は概ね順調な生育で、7月中旬からは増量して相場弱含みとなる予想。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の生育状況及び価格見通し」(農林水産省)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:平年並とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示す。「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)